



2024年2月6日

各 位

会社名 株式会社海帆  
代表者名 代表取締役 守田 直貴  
(コード番号:3133 東証グロース)  
問合せ先 取締役管理本部長 水谷 準一  
(TEL. 052-586-2666)

## 第三者割当増資に係る資金使途の変更に関するお知らせ

当社は、2022年3月2日に開示いたしました「第三者割当による新株式発行、第5回新株予約権の発行及び親会社及び主要株主である筆頭株主の異動に関するお知らせ」に係る資金使途を下記の通り変更することを取締役会にて2024年2月6日に決議しましたので、お知らせいたします。

### 1. 過去の資金使途変更の内容

当社は、2022年3月2日に開示いたしました「第三者割当による新株式発行、第5回新株予約権の発行及び親会社及び主要株主である筆頭株主の異動に関するお知らせ」のとおり、未払金への支払や運転資金、店舗の退店、事業拡大のための新規出店や業態変更を目的とし資金調達を実施いたしました。

本資金調達の資金使途に関して、2022年7月15日に開示いたしました「第三者割当増資に係る資金使途の変更に関するお知らせ」において、株式会社SSSの全株式を取得し子会社化するために資金使途の一部を変更しております。

また、2023年1月31日に開示しました「第三者割当増資に係る資金使途の変更に関するお知らせ」において、当社子会社にて太陽光発電設備の取得を目的とした資金を貸付けるために資金使途の一部を変更しております。

### 2. 変更の理由

具体的な資金使途①「地代家賃、仕入資金等の未払費用」においては、払込完了日である2022年3月28日において、既に一部の支払が生じていたため、「2022年4月～」を「2022年3月～」に変更したものです。

具体的な資金使途③「その他運転資金および店舗改装、撤退、新規出店資金」においては、下記、具体的な資金使途⑤「子会社への貸付け（太陽光発電設備の取得を目的とする）」及び、具体的な資金使途⑥「医療法人社団修永会への貸付け（院内設備の取得を目的とする）」へ資金使途を変更するため、新規の出店計画を中止したため減少したものです。具体的な資金使途③に関しては2022年3月2日に開示いたしました「第三者割当による新株式発行、第5回新株予約権の発行

及び親会社及び主要株主である筆頭株主の異動に関するお知らせ」の時点において、8店舗の改装、4店舗の撤退、約44店舗の新規出店を見込んでおり、8店舗の改装（新時代への変更）及び4店舗の撤退に関しては完了しております。新規出店に関しては、2022年7月15日に開示いたしました「株式会社SSSの株式の取得（子会社化）に関するお知らせ」及び「第三者割当増資に係る資金使途の変更に関するお知らせ」のとおり、株式会社SSSを子会社化したことで19店舗が増加しているほか、その他新規出店に関しては2店舗となっており、その他の費用は「新時代」への業態変更の際に取得した固定資産の分割支払い費用や運転資金となっております。また、充当初であった一部資金においては、飲食店舗の出店より将来的な収益性が増加すると見込んでいる、具体的な資金使途⑤「子会社への貸付け（太陽光発電設備の取得を目的とする）」及び具体的な資金使途⑥「医療法人社団修永会への貸付け（院内設備の取得を目的とする）」に変更し、当該調達資金における新規出店の追加は行わないことといたしました。

具体的な資金使途⑤「子会社への貸付け（太陽光発電設備の取得を目的とする）」に関しては、当社子会社への貸付けとして820百万円を想定しておりましたが、太陽光発電設備取得に係る資金を金融機関等から調達することを予定していたものの、当初の計画より資金調達に遅れが生じていた関係で、2024年1月末時点において約81百万円を追加で立替支払（立替日：2023年8月24日、2023年9月7日、2023年9月25日、2023年9月29日、2024年1月17日）をしております。また、立替支払にしている理由としましては、太陽光発電設備の取得等において必要な資金を立替支払し、入ってきた売上高にて立替支払を解消しており、当社から貸付ける必要のある金額が定まっていないため、立替支払としております。

具体的な資金使途⑥「医療法人社団修永会への貸付け（院内設備の取得を目的とする）」においては、2024年2月6日に開示いたしました「（開示事項の変更）固定資産の取得に関するお知らせ」に記載のとおり、当社が飲食事業にて取り組んでいる独立支援での店舗展開に関して、飲食以外での業種による店舗展開ができないか模索していたところ、美容クリニック事業を行うために物件を探していた医療法人社団修永会（住所：愛知県名古屋市中区栄三丁目15番37号 エフジー栄ビル3階、理事長：宮嶋尊則）（以下、「修永会」という。）に対し、当社飲食事業での活用を予定していた栄の店舗物件を当社が美容クリニック用に改装し貸し出すこと及び美容クリニックのマーケティング並びに広告・プロモーションを当社が担当することで、開業の支援を行うこととなりました。その際、美容クリニックにて使用する院内設備に関しても当社にて取得する予定であったものの、当社は医療法人ではないため医療機器の購入をすることができず、修永会と協議し医療機器購入に係る資金を当社から貸付けることといたしましたため、資金使途の変更を行ったものです。

変更の内容の詳細につきましては、下記3. 資金使途変更の内容の【変更後】に記載の表をご参照ください。

### 3. 資金使途変更の内容

(変更前)

2023年1月31日現在

具体的な資金使途		金額 (百万円)	支出予定時期
①	地代家賃、仕入資金等の未払費用	355	2022年4月～9月 (全額支出済み)
②	運転資金(人件費、地代家賃、仕入等)	750	2022年4月～9月 (全額支出済み)
③	その他運転資金および店舗改装、撤退、新規出店資金	<u>1,323</u>	2022年4月～2024年3月 <u>(約1億円を支出済み)</u>
④	M&A	300	2022年7月 (全額支出済み)
⑤	子会社への貸付け(太陽光発電設備の取得を目的とする) 総額:8.2億円 担保:なし 利率:1.5% 利息支払時期:元金と一括 貸付時期:子会社による固定資産取得の支払時期による 弁済期日:貸付時期から20年間とする	<u>820</u>	2023年1月～2024年1月

(変更後)

2024年1月31日現在

具体的な資金使途		金額 (百万円)	支出予定時期
①	地代家賃、仕入資金等の未払費用	355	2022年3月～9月 (全額支出済み)
②	運転資金(人件費、地代家賃、仕入等)	750	2022年4月～9月 (全額支出済み)
③	その他運転資金および店舗改装、撤退、新規出店資金	<u>1,093</u>	2022年4月～2024年3月 <u>(997百万円を支出済み)</u>
④	M&A	300	2022年7月 (全額支出済み)
⑤	子会社への貸付け(太陽光発電設備の取得を目的とする) 総額:8.2億円 担保:なし 利率:1.5% 利息支払時期:元金と一括 貸付時期:子会社による固定資産取得の支払時期による	<u>901</u>	2023年1月～2024年1月 <u>(全額支出済み)</u>

	弁済期日：貸付時期から 20 年間とする <u>立替支払：81 百万円</u>		
⑥	<u>医療法人社団修永会への貸付け（院内設備の取得を目的とする）</u> <u>総 額：150 百万円</u> <u>担 保：購入した院内設備</u> <u>利 率：2.0%</u> <u>利息支払い時期：元金と一括</u> <u>貸付け時期：2023 年 8 月 4 日</u> <u>弁済期日：2024 年 4 月 30 日</u>	<u>150</u>	<u>2023 年 8 月～2023 年 10 月</u> <u>（全額支出済み）</u>

#### 4. 今後の見通し

本件が当社の業績に与える影響は軽微と考えておりますが、今後の業績に与える影響について開示すべき事項が生じた場合には、速やかに開示いたします。

以 上